

実家にいた時に使っていた、あなたの部屋は今…？

実家にいた時に使っていた部屋、「自分がいた時のまま」41.9%、「別の用途で使用」36.7%
部屋に残してきたもので家族に見られて恥ずかしかったもの、第1位「アダルトな本・雑誌・DVD」第2位「日記」

子どもが成長するなかで、どこかのタイミングで子ども部屋を与える家庭が多い。しかし、子どもが高校や大学を卒業し独立すれば、どうしても部屋は余ってしまう。その空き部屋は、一体どのように使われているのだろうか。

今回、オウチーノ総研(株式会社オウチーノ/本社:東京都港区/代表:井端純一)は、一人暮らしをしている20歳~39歳の男女444名にアンケート調査を行った。「実家にいた時に使っていたあなたの部屋は今、どうなっていますか?」という質問をしたところ、41.9%が「自分がいた時のまま」、23.9%が「物置部屋」、12.8%が「自分以外の人を使用」と回答した。また、「実家に帰省した時は、どの部屋で寝ていますか?」と聞いたところ、最も多かったのが「客間」、そして「居間」が続いたのだが、3番目に多かったのが「物置部屋」で寝ている、という人だった。また、自分の部屋に残してきたもので、家族に見られて恥ずかしかったものを聞くと、第1位は「アダルトな本・雑誌・DVD」、第2位が「日記」だった。

■調査概要

有効回答 一人暮らしをしている20歳~39歳の男女444名

調査方法 インターネットによるアンケート調査

調査期間 2014年3月20日(木)~3月21日(金)

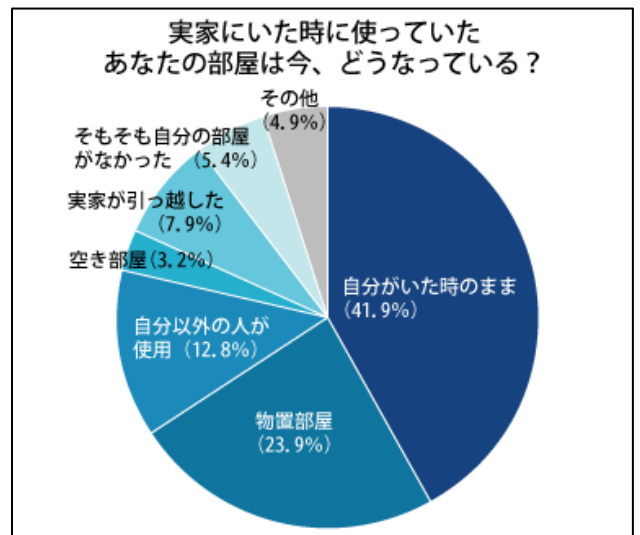
1. 実家の自分の部屋、「自分がいた時のまま」41.9%、「別の用途で使用」36.7%

はじめに、「実家にいた時に使っていたあなたの部屋は今、どうなっていますか?」という質問をした。結果、41.9%が「自分がいた時のまま」、23.9%が「物置部屋」、12.8%が「自分以外の人を使用」と回答した。

4割の家庭は、実家の子ども部屋が、子どものいた時のまま使われていないようだ。そして、「自分がいた時のまま」の次に多かったのが、「物置部屋」と「自分以外の人を使用」といった、別の用途で部屋が使われているという回答だった。

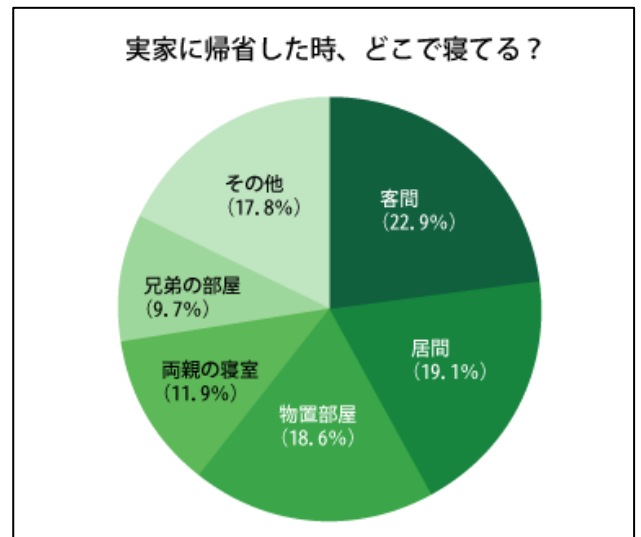
「自分以外の人を使用」と回答した人に、誰が使用しているのか聞いてみると、最も多かったのが、「父・母」で、「母が寝室として使用している」(28歳/女性)や「父が書斎にしている」(32歳/女性)といった使われ方をしているようだ。その次に多かったのが「兄弟」。

「妹の部屋になっている」(36歳/男性)といったように、兄弟が自分の部屋として使用している場合が多いよう。そして次が「兄弟夫婦」で、「兄弟夫婦が居住スペースとして使用している」(26歳/女性)などという回答が挙がった。他にも、姪っ子、甥っ子の部屋になっている、という人もいるようだ。



2. 実家帰省時の寝室、「物置部屋」という人も

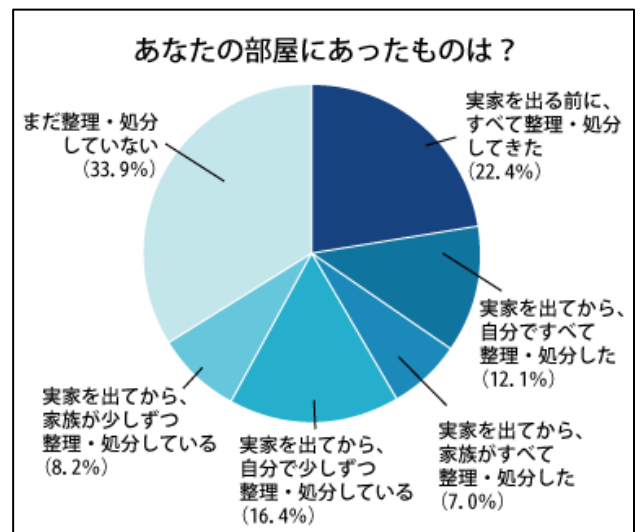
では、実家の自分の部屋が物置部屋になっていたり、家族が使用していたり、もしくは実家が引越していたりと、実家に自分の部屋がない人は、実家に帰省した時、どこで寝泊りしているのだろうか？「実家に帰省した時は、どの部屋で寝ていますか？」という質問をしてみた。最も多かったのが「客間」で22.9%。次に居間で19.1%、そしてなんと、物置部屋が18.6%で3番目に多かった。その他のなかには、「台所」という回答もあった。



3. 「あなたの部屋にあったものは、整理・処分した？」・・・33.9%が「まだ」

家族に見られて恥ずかしかったもの、第1位「アダルトな本・雑誌・DVD」、第2位「日記」

次に、「あなたの部屋にあったものは、整理・処分しましたか？」という質問をした。「実家を出る前に、すべて整理・処分してきた」と回答したのが22.4%、「実家を出てから、自分ですべて整理・処分した」が12.1%、「実家を出てから、家族がすべて整理・処分した」が7.0%、「実家を出てから、自分で少しずつ整理・処分している」が16.4%、「実家を出てから、家族が少しずつ整理・処分している」が8.2%、そして「まだ整理・処分していない」が33.9%だった。



「実家を出る前に、すべて整理・処分してきた」という人以外は、実家を出た後、家族に部屋にあるものを見られて、恥ずかしい思いをしたことはないのだろうか？「あなたが実家から独立してから、家族に部屋や部屋にあるものを見られて、恥ずかしい思いをした

ことはありますか？」と聞いてみた。最も多かったのが「アダルトな本・雑誌・DVD」だった。なかには、「実家に帰ったら、アダルト本が整理されていた」(25歳/男性)といった人もいた。やはり洋服や本などは後々整理・処分するとしても、これだけは実家を出る前にどうにかしておいた方が良さそうだ。次に多かったのが「日記」。「日記を読まれたことがある。当時両親について抱いていた不満を書いてしまっており、後にその話を切り出された時は気まずかった」(27歳/女性)といったエピソードもあった。その次に多かったのが、「恋人との思い出」と「プリクラ・写真」だった。「恋人との思い出」は例えば、「恋人への手紙」(32歳/女性)や「昔の彼女との写真やプリクラ」(29歳/男性)などが挙がった。また「恋人」ではないが、「昔書き溜めて出さなかったラブレター」(39歳/女性)といった回答もあった。他には、「本・漫画」、「友達との手紙、交換日記」、「卒業アルバムの寄せ書き」などが挙がった。

オウチーノ総研：<http://corporate.o-uccino.jp/research-o/>